

特定非営利活動法人 あしやNPOセンター

【第13期（令和元年度）事業報告書】



目 次

ページ

第13期（令和元年度（平成31年度））活動報告	1
第13期（令和元年度（平成31年度））活動計算	42
財産目録	44
貸借対照表	45
計算書類の注記	46
監査報告書	48

第13期（令和元年度（平成31年度））活動報告

I 委託事業

1. あしや市民活動センター（以下、活動センター）の指定管理業務

(1) 会館の管理運営業務（定款①）

・会議室等を貸し出した。会議室の平均稼働率52%、利用料金は1,094,690円であった。コロナウィルスの影響で3月は休館となり、収益が激減した。

【会議室及び、多目的室・オープンスペースの稼働率】

	開館 日数	利用 可能 件数	会議室A		会議室B		会議室C		会議室D		会議室CD		合 計		参 考					
			回 数	稼 働 率 (%)	オープン1		オープン2		多目的室											
															回 数	稼 働 率 (%)	回 数	稼 働 率 (%)	回 数	稼 働 率 (%)
4月	24	72	51	71%	31	43%	36	50%	35	49%	8	11%	153	53%	18	25%	0	0%	10	14%
5月	22	66	45	68%	35	53%	26	39%	24	36%	3	5%	130	49%	8	12%	0	0%	35	53%
6月	25	75	52	69%	38	51%	22	29%	19	25%	7	9%	131	44%	16	21%	2	3%	27	36%
7月	26	78	49	63%	42	54%	30	38%	27	35%	9	12%	148	47%	16	21%	1	1%	18	23%
8月	26	78	38	49%	36	46%	46	59%	30	38%	18	23%	150	48%	22	28%	0	0%	16	21%
9月	23	69	45	65%	35	51%	26	38%	18	26%	1	1%	124	45%	9	13%	0	0%	17	25%
10月	26	78	58	74%	52	67%	38	49%	30	38%	7	9%	178	57%	18	23%	0	0%	18	23%
11月	24	72	49	68%	45	63%	31	43%	29	40%	9	13%	154	53%	13	18%	1	1%	21	29%
12月	23	69	52	75%	36	52%	35	51%	37	54%	11	16%	160	58%	19	28%	4	6%	30	43%
1月	23	69	48	70%	45	65%	45	65%	39	57%	11	16%	177	64%	6	9%	2	3%	28	41%
2月	23	69	46	67%	40	58%	42	61%	38	55%	7	10%	166	60%	15	22%	5	7%	26	38%
3月	9	27	10	37%	10	37%	9	33%	12	44%	0	0%	41	38%	2	7%	0	0%	4	15%
合計	274	822	543	66%	445	54%	386	47%	338	41%	91	11%	1,712	52%	162	20%	15	2%	250	30%

【会議室及び、多目的室・オープンスペースの利用料金収益】

月	会議室A	会議室B	会議室C	会議室D	会議室CD	オープン1	オープン2	多目的室	合計
4月	20,970	12,800	24,920	18,360	12,600	14,140	0	840	104,630
5月	17,090	12,220	20,830	15,720	4,970	15,400	0	1,450	87,680
6月	18,300	12,580	14,250	8,320	4,250	27,700	0	1,600	87,000
7月	15,670	16,660	16,560	13,300	8,450	24,500	560	2,640	98,340
8月	12,020	12,170	26,780	10,880	1,750	13,300	0	3,010	79,910
9月	14,770	13,810	20,520	15,640	3,220	5,460	0	3,490	76,910
10月	19,240	17,040	24,900	16,540	8,450	19,810	0	3,690	109,670
11月	15,820	14,870	20,840	16,520	12,110	14,980	0	4,570	99,710
12月	17,610	12,060	23,780	13,380	10,150	22,610	560	6,600	106,750
1月	15,440	16,270	21,240	22,260	10,950	0	0	4,240	90,400
2月	17,820	15,320	29,450	29,240	13,140	10,780	1,120	6,110	122,980
3月	2,950	2,930	8,350	10,160	0	5,600	0	720	30,710
合計	187,700	158,730	252,420	190,320	90,040	174,280	2,240	38,960	1,094,690

※同月に実際に会議室を利用した料金を表示している。

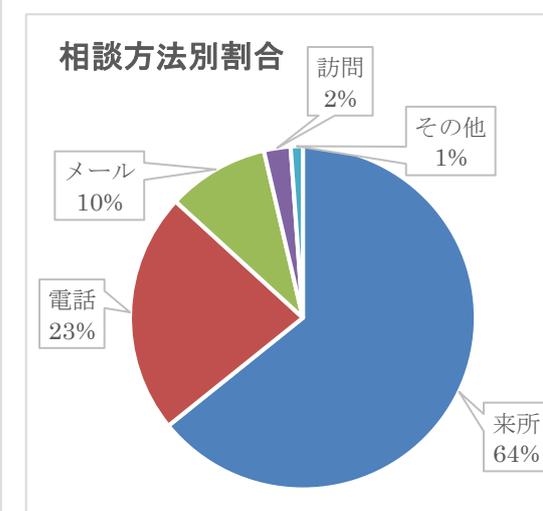
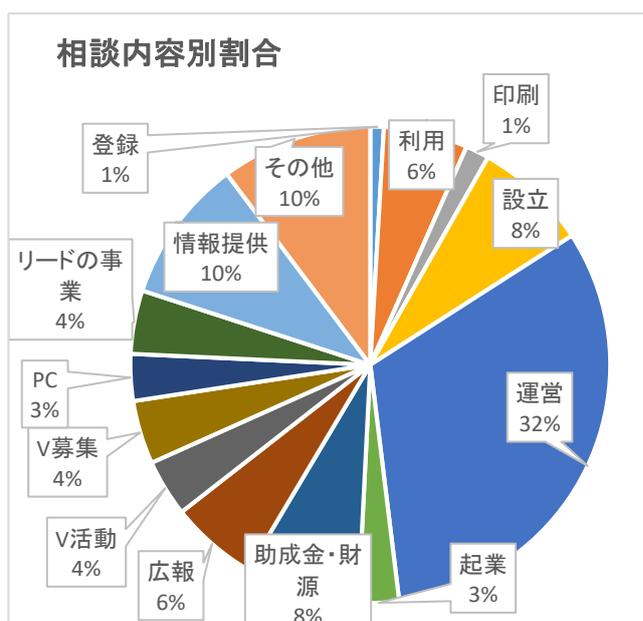
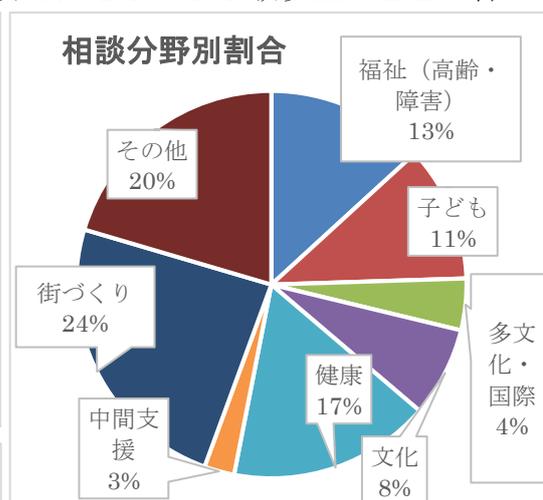
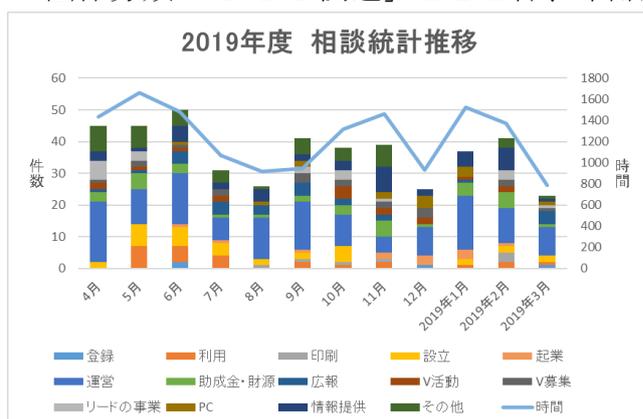
・10月30日（水）公光分庁舎北館南館合同避難訓練開催（報告6頁）

- ・ 1月20日(月) 普通救命講習会開催(報告7頁)
- ・ 大判プリンター、コピー機等の貸し出し、印刷に関する助言及び支援
- ・ NPO 関連の図書、プロジェクター等の無償貸出

(2) 相談業務(定款②)

今年度は、団体の運営にかかわる相談が最も多く30%超の割合を占め、団体の設立や社会的起業など立ち上げ支援にかかわる相談は10%であった。コミュニティビジネス等の起業支援に力を入れ、6つの新しいNPO法人の認証・立ち上げの支援ができた。

- ・ 相談件数の総数：441件、相談対応時間14,913分(約249時間)
- ・ NPO の設立や運営に関する相談276件、パソコン相談14件、ボランティア相談36件、助成金等財源相談34件、広報に関する相談26件、施設利用に関する相談55件、他大判プリンターなど印刷等に関する相談992件
- ・ 相談項目上位：「運営」142件、「情報提供」43件、「設立」「助成金財源」34件
- ・ 相談分野上位：「街づくり」106件、「健康」74件、「福祉」58件
- ・ 団体分類：「NPO関連」212件、年齢別では40～50歳以上が228件



(3) 市民活動団体の相互の交流とネットワーク支援事業(定款⑤)

- ・ 5月20日(月)から6月7日(金)まで、3週間市内3中学校の「トライやる・ウィーク」の受け入れ(報告9頁)
- ・ 6月1日(土)第12回あしや市民活動フェスタの開催(報告10頁)
- ・ 6月26日(水)季刊紙封入作業登録団体による交流会
- ・ 6月29日(土)登録団体紹介冊子発行交流会(報告14頁)
- ・ 10月2日(火)季刊紙封入作業登録団体による交流会(報告15頁)
- ・ 10月29日(火)登録団体紹介冊子発行交流会(報告16頁)
- ・ 12月21日(土)冬の市民活動ふれあいフェス『あんあーと』(報告17頁)
- ・ 1月7日(火)季刊紙封入作業登録団体による交流会(報告19頁)
- ・ ふれあいカフェ:4月「リードあしや」5月「芦屋健康倶楽部」6月「リードあしや」7月「ポイエシス」8月「スマイルボランティア」9月「がんばるママーズ」12月「国境なき子どもたち」1月「ポイエシス」2月「サニーカフェ」(報告20頁)

(4) セミナー事業(定款④)

- ・ 6月8日(土)法人立上げ・団体運営半dayスクール(報告22頁)
- ・ 8月6日(火)、8月8日(木)「芦屋発君も今日から新聞記者」セミナー(報告23頁)
- ・ 8月22日(木)芦屋で始めるクラウドファンディング基礎編(報告25頁)
- ・ 9月30日(木)芦屋で始めるクラウドファンディング実践編(報告26頁)
- ・ 9月21日、9月28日、10月12日(土)社会的な価値を生み出す事業のツクリカタセミナー(報告28頁)

(5) 市民参画及び協働に関する情報収集と提供業務(定款②)

- ・ 7月11日(木)第31回芦屋市障がい児・者とのふれあい市民運動会会議出席
- ・ ホームページで芦屋市の情報や、登録団体のイベント告知等の情報発信
- ・ 活動センター内で、ラック・パネルなどを活用して団体情報掲示
- ・ ボランティア募集ボードに、イベント、会員募集掲示
- ・ 季刊紙「リードあしや」45号6月24日、46号9月30日、47号1月6日、48号3月23日発行

(6) ボランティアコーディネーション(定款⑦)

- ・ 4月6日(土)、4月7日(日)「芦屋さくらまつり」(報告29頁)
- ・ 7月29日(月)「グリーン&フラワー リードあしやのガーデンづくり」(報告31頁)
- ・ 10月13日(日)あしや秋まつり支援(報告33頁)
- ・ 12月8日(日)障がい児・者作品展支援

(7) 地域課題解決の仕組みづくり会議(定款⑥)

- ・ 4月12日(金) あしや笑顔ネット会議において「芦人認定」の最終確認
- ・ 8月19日(月) 10月24日(木) 11月21日(月) あしや笑顔ネット会議において「芦人認定」の選定と「あんあーと」の打ち合わせを行った。

(8) 自主事業

- ・ 6月13日(木)、7月8日(月)、11月25日(月)「グリーン&フラワーセミナー開催」(報告34頁)
- ・ 7月15日(月)、8月25日(日) 芦屋市在住の高校生による「あしや部」開催(報告38頁)
- ・ 芦屋市在住の高校生による「あしや部」開催(報告45頁)
- ・ 飲食店営業許可書を芦屋市保健所から得、オープンスペース1にて、ドリンクコーナーを設け、7月からは「ランチ&カフェ」事業を開始
- ・ ロッカーを設置し、12ロッカー貸出
- ・ 印刷機、ラミネート等の貸し出し、印刷に関する助言及び支援
- ・ ギャラリーで団体に作品の展示、販売の場を提供
- ・ 利用者のくつろぎの場として自動販売機を設置し飲食の販売を行った。

令和元(平成31)年度 施設・備品利用料収入

	指定管理事業					輪転 印刷機	自主事業					法人総合計	収益総合計	
	貸室	複合機	大判	紙折	丁合		ロッカー	ランチ&カフェ	缶バッチ	ラミネート	カフェ			ギャラリー
4月	¥97,790	¥187,409	¥3,500	¥300	¥300	¥134,870	¥14,400	¥0	¥0	¥1,120	¥36,200	¥0	¥186,590	¥475,889
5月	¥107,640	¥220,190	¥3,000	¥300	¥0	¥81,229	¥22,400	¥0	¥4,450	¥680	¥29,956	¥800	¥139,515	¥470,645
6月	¥59,080	¥137,905	¥16,000	¥600	¥300	¥60,994	¥10,400	¥24,000	¥0	¥3,800	¥27,700	¥700	¥127,594	¥341,479
7月	¥106,490	¥170,040	¥17,000	¥300	¥0	¥43,028	¥15,200	¥30,000	¥0	¥2,240	¥32,500	¥1,400	¥124,368	¥418,198
8月	¥95,450	¥178,640	¥35,500	¥300	¥0	¥38,215	¥2,400	¥0	¥4,000	¥1,120	¥22,760	¥0	¥68,495	¥378,385
9月	¥87,740	¥95,420	¥8,940	¥0	¥0	¥57,050	¥13,600	¥0	¥4,210	¥1,160	¥37,665	¥800	¥114,485	¥306,585
10月	¥117,620	¥193,520	¥20,500	¥300	¥0	¥35,184	¥2,400	¥12,000	¥0	¥2,920	¥44,000	¥0	¥96,504	¥428,444
11月	¥119,200	¥212,160	¥32,230	¥300	¥0	¥50,944	¥1,600	¥0	¥0	¥6,120	¥42,020	¥1,000	¥101,684	¥465,574
12月	¥125,490	¥143,220	¥6,320	¥0	¥0	¥27,546	¥8,800	¥0	¥0	¥2,040	¥46,205	¥1,000	¥85,591	¥360,621
1月	¥132,620	¥120,420	¥4,810	¥600	¥0	¥35,732	¥0	¥6,000	¥0	¥1,200	¥43,850	¥400	¥87,182	¥345,632
2月	¥110,590	¥130,870	¥0	¥0	¥600	¥43,248	¥800	¥12,000	¥0	¥1,960	¥43,571	¥600	¥102,179	¥344,239
3月	¥-8,590	¥49,740	¥0	¥600	¥0	¥32,872	¥14,400	¥-6,000	¥0	¥0	¥18,150	¥2,800	¥62,222	¥103,972
合計	¥1,151,120	¥1,839,534	¥147,800	¥3,600	¥1,200	¥640,912	¥106,400	¥78,000	¥12,660	¥24,360	¥424,577	¥9,500	¥1,296,409	¥4,439,663

II 独自事業

1. 人材育成及び講師派遣事業(定款④)

- ・ 6月8日(土) 阪神南地域ビジョン委員会「チラシ作成講座」講師派遣
- ・ 9月5日(木) 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学 講師派遣
- ・ 11月7日(木) 社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 講師派遣
- ・ 11月17日(日)「ようこそ!わたしたちの未来へ」トークセッション・憲法&平和 de まちづくりを開催(報告40頁)

2. 情報提供事業(定款②)

- ・ NPOセンター通信10号を発行しホームページに掲載
- ・ 毎月1日メールマガジンの配信
- ・ 法人のFacebookを利用し、事業内容を都度配信

- ・ためまっぷ芦屋へ団体、行政のイベント等を配信

3. 各団体の委員を担う。

- ・ 4月3日(水) 7月10日(水) みどり地域生活支援センター運営会議出席
- ・ 5月30日(水) 社会を明るくする運動の会議出席
- ・ 6月11日(火) 障がい児・者作品展の会議出席
- ・ 8月29日(木) 10月18日(金) 障がい児・者とのふれあい市民運動会会議出席、11月16日(土) 運動会参加
- ・ 9月17日(火) 障がい児・者作品展の会議出席
- ・ 10月2日(水) みどり地域生活支援センター運営委員会会議出席

4. 他団体への後援・協力(定款⑤)

- ・ 5月19日(日) こくさいひろば芦屋の総会に出席
- ・ 5月30日(水)、7月16日(火) 社会を明るくする運動に参加
- ・ NPO法人あっとオーティズム「世界自閉症啓発デーLight up Blue2020」支援
- ・ 9月22日(日) ウェルネスサポート「高齢者のフレイル対策と居場所創出のための事業」支援
- ・ 12月6日(金) 12日(木) NPO法人かわにし事務局の「学び塾」支援
- ・ 芦屋市(障害福祉課、政策推進課)の市制80周年記念事業の支援
- ・ メールマガジン等で市民団体の広報支援をした。

5. 組織運営 理事会等

- ・ 平成31年4月23日(火) 第1回第理事会 13期通常総会内容討議
- ・ 平成31年4月23日(火) 平成31年度監査
- ・ 令和1年5月11日(土) 第13期通常総会
- ・ 令和1年5月11日(土) 会員、一般の方対象の研修会
- ・ 令和1年8月27日(火) 第2回理事会 次期指定管理選定審議
- ・ 令和2年1月30日(木) 第3回理事会 令和2年度事業計画案審議
- ・ 事務局会議：毎月1回の開催と、申し送りを兼ねた朝礼を毎日実施
- ・ 指定管理者事務局会議：毎月1回、市民参画課と指定管理業務内容の確認

芦屋市公光分庁舎避難訓練報告

- 1 開催日時：10月30日（水）10：00～10：45
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者数：42名
(市民活動センター利用者：31名、地域経済振興課職員：7名、
リードあしや職員：4名)
- 4 内 容
 - (1) 目 的：消防法に基づいた避難訓練の年1回の実施を行い、火災時の対応が円滑にできるようにする。
 - (2) 内 容：公光分庁舎北館1階オープンスペースキッチンにて出火を想定した総合避難訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）※別紙
 - ・ 出火場所確認
 - ・ 非常ベルを鳴動させ119番の通報訓練
 - ・ 職員による施設利用者の避難誘導
 - ・ 施設内消火器を仮想火元に集めての初期消火訓練
 - ・ 避難場所での水消火器を使つての消火訓練
 - ・ 消防本部隊員による訓練講評及び講話
- 5 振り返り（消防本部講評も含む）
 - (1) 初期消火訓練について
 - ・ 火元発見者による大声での火事通報を行った。しかし、どこで火が発生したかの場所の情報伝達がされなかったことの指摘があった。発火場所により避難経路を変えなければならないことがあるので施設内にいる者への必要な情報であることが分かった。
 - ・ 初期消火活動については、火元に施設内の消火器（1F、2F）4本が迅速に集められたのは、消火活動に有効でありよかった。
 - (2) 通報訓練について
 - ・ 119番への通報に関して各電話機に常備している火災通報マニュアルに沿って円滑な連絡ができた。但し、火元を伝えることができなかったのが改善点となった。
 - (3) 避難誘導について
 - ・ 北館2階の3つの会議室に利用者31名がいたが、避難経路を屋内階段と屋外階段に分散確保し、それぞれに職員が配置し誘導することで避難場所への円滑な避難ができた。
 - (4) 水消火器を使った消火訓練について
 - ・ 避難場所において消防本部隊員による消火器の説明の後、実技を行った。多くの方が参加して使い方を学習することができた。
 - (5) その他
 - ・ 消防本部隊員から消火器や火事に関する丁寧な説明や講話があり、訓練参加者

- からは「よくわかった。」「参加してよかった。」といった感想が聞かれた。
- ・公光分庁舎北館から南館への非常通報がベルではなく電子音によるものであったことが確認できた。
 - ・公光分庁舎南館・北館合同避難訓練を事前打ち合わせなく、役割分担表、手順書の共有のみで行ったが、配置や誘導は円滑に行われたのではないかと感じた。

講座風景



普通救命講習報告書

- 1 開催日時：1月20日（月）13：30～16：30
- 2 会 場：リードあしや
- 3 講 師：芦屋市消防本部救急課 牧野氏、中田氏
- 4 担 当：二宮 毅行
- 5 参加者数：13名
(参加申込者：10名 芦屋市消防本部救急課隊員（講師）：2名
リードあしや職員：1名)
- 6 内 容
 - (1) 目 的：大切な人が急に倒れたとき、救急車が来る前に何ができますか？をテーマに心肺蘇生法、AED操作といった応急手当を学ぶ。
 - (2) 内 容：芦屋市消防本部救急課隊員による出前講座を依頼して、マネキンやデモ用AEDを使っでの体験型学習と質疑応答を含めた座学により応急手当の仕方を学ぶ。
 - ・訓練用マネキンを使っでの心肺蘇生法体験（胸骨圧迫、人工呼吸）
 - ・デモ用AEDによる操作方法
 - ・定期的に見直される最新の応急手当の仕方と質疑応答
- 7 振り返り
40代主婦から70代後半の高齢者まで、ご夫婦の参加者もあり幅広い年齢層の方が参加した。消防隊員の講師から、119番通報から救急車が到着するまで芦

屋市の平均時間は約6分であり、心肺停止の状態であればその間に助かる可能性がどんどん逓減してしまうことから救命法の必要性を意識することができた。マネキンを使っての胸骨圧迫及び人工呼吸法の体験、デモ用AED装置の操作方法など日常使ったり見たことない装置に触れることで貴重な体験をすることができた。また、参加者の質疑には講師が丁寧に納得できる応答をしてくださり、救急に対する知識と理解度が高まり満足度の高い講習となった。

8 参考 (質疑応答の例)

- ・心臓は左側にあるのに胸骨圧迫は何故、真ん中を押すのか。
→心臓は真ん中にあり少し左に傾いているだけなので胸骨を圧迫する。
- ・ペースメーカーをしている人も同様の処置でいいのか。
→ペースメーカーは少しずれた箇所にあるので同様に胸骨圧迫をする。
- ・応援がおらず一人しかいない時はどうすればいいのか。
→最優先は119番通報。そして救急車が来るまで胸骨圧迫を続けること。
- ・胸骨圧迫で肋骨は折れないのか。
→肋骨は弱いので真ん中を圧迫すること。折れることもあるが、骨はくっつく(再生)するが、心臓は戻らない。
- ・心肺停止にAED装置が必ず有効か。
→AEDは心停止状態では機能(電気ショック作動)しない。何よりも胸骨圧迫が有効な処置となる。
- ・胸骨圧迫はいつまで続けるのか。
→意識が僅かでもあれば胸骨圧迫は相当痛いので顔が歪むなどの反応があるはず。であれば止めてもいい。

講座風景



トライやる・ウィーク受入事業報告

- 1 日 時 : 5月20日(月)～6月7日(金)
- 2 学 校 : 精道中学校2人 山手中学校3人 潮見中学校2人
- 3 協力団体 : (社福) 三田谷治療教育院、みどり地域生活支援センター、
(認特) フードバンク関西
- 4 目 的 : ボランティア、NPO とは何かを理解してもらい、市民活動団体の支援
の場である市民活動センターの存在を若い世代から理解していただくこと。
- 5 内 容 : NPO とは (NPO 団体の活動体験と座学)
センターの機能を知る。(センター内ふしぎ発見と機器体験等)
ボランティア、市民活動の見学(障がい者施設の訪問と座学)
地域の課題解決のためのコミュニティビジネス企画立案
成果発表会(最終日)
- 6 評 価 : 1日の目標と振り返りは毎日行い、達成度を増していけるような仕組みにした。学生たちは、自己アピールすることが徐々に出来るようになり、達成した背景まで説明できるようになった。特に、地域の課題解決のためのコミュニティビジネス企画は、身近なものからよく考え出され、また、それらの案に当職員がアイデアを重ね、さらに興味深いものとなった。実現できる日が楽しみに思えた。
他団体訪問は、障がい者施設とNPO法人であった。2カ所共に良い刺激となり、保護者にも伝え共通の話題となったようだ。今後、彼らが市民活動に興味を持ち、このセンターを利用していくことを期待している。
- 7 振り返り : 毎朝のオリエンテーションと終了の振り返りは専任し、プログラム毎には担当で分担し、他団体訪問は全職員交代で取り組むことで、職員の研修にもなり、学生たちもどんな職員が何を担当しているのかを理解していただけたようだ。最終日の発表や、イベント(市民活動フェスタ)では利用者とのコミュニケーションを持つ場を設けることができたが、より多くの方々とのふれあいまでは難しかった。



山手中学校 (5月21日～6月1日)



潮見中学校 (6月3日～7月7日)

第11回あしや市民活動フェスタ実施報告

- 1 実施日：6月1日(土) 13:00～17:00
- 2 担当：横山 宗助
- 3 参加者数：43名
- 4 目的：芦屋への想いを若者と市民活動団体が、A11芦屋で知恵を出し合い語

り合い、アイデアを実現し、次世代へつなぐ。

5 テーマ:「芦屋」でのあなたの「肩書き」わかります

6 内容: 13:00～ 開会

13:05～ クロストーク

三宅 正弘氏 (武庫川女子大学)

美内 明子氏 (ウェルネスサポート)

13:50～ 基調講演、WS 兼松 佳宏氏 (京都精華大学)

16:00～ マッチングWS

17:00 閉会

7 アンケート結果: 回答数26

(満足23 やや満足2 普通1 やや不満0 不満0)

[満足]

- ・多くの人やグループ以外の方と話す“しかけ”があり楽しかったです。コーヒードリンクで10人近い方とお話できました。
- ・自分と他者の個性を尊重しお互いの良さを引き出し認め合うことで人と人の繋がり、街の活性化に貢献できるより良い経験が出来ました。
- ・去年は所用があり、参加できませんでしたが普段から懇意にしている美内さんとお話されることもありとても楽しみにしていました。スタッフの高田さんにもお会いでき皆様との交流、兼松先生のワークショップも楽しく各人の良さが引き出された素敵な時間でした。
- ・つながりたい人につながった。
- ・兼松さんのワークショップが良かったのとそれが自分ごと地域課題の解決につながると面白いです。
- ・第三者から見た自分の肩書きを教えてもらってうれしかったです。別の発想が面白かったです。
- ・活動的な人とふれあうのはいい刺激になりました。
- ・ワークショップが本当に楽しかったです。また参加したいです。
- ・自分について他の人に共有することで、新しい自分(スチーマ)について発見があり、とても面白かったです。
- ・Beの肩書きという考え方がわかり、それを誰かに考え、考えられるという体験が面白く楽しめた。
- ・最後の具体案をゴリゴリ考えるワークの時間がもっと取れるとベターかもでした。多分みんな良いひとなのでくじとかのマッチングでも良かったかもですね。
- ・最初の難しそうに思った。Beの肩書きづくりがワークショップを通じてだんだん整理されてすんなりできた。
- ・まちのイベントに初めて参加しました。また、何か参加したいと思いました。ありがとうございました。

- ・初対面の方と打ち解けて様々なお話ができてよかったです。
- ・最初眠くなりそうだったが聞いてみたらすごく興味が沸いて楽しかったです。
- ・昨年度とは違った内容で自分の知らない自分に気づくことができてよかったです。
- ・職員の皆様ありがとうございました。ここを一緒に盛り上げていきましょう。今後ともよろしくお祈いします。
- ・楽しかったです。
- ・以前から興味があった兼松さんの Be の肩書きについてていねいな WS を受けられてとてもよかったです。このWSが実行につながっていくことを願います。とりあえず、私は、これからここでチーム M のみんなとどんどん WS を開いていくつもりです。どうぞ、よろしくお祈いいたします。
- ・日本語教育で、文章を作成する時に比べモノや道具にたとえてみるのが実践できる。
- ・日本文化の展開でリードあしやを活用したい。
- ・いろいろな気づきをさせていただきました。兼松先生の話が面白かったです。
- ・楽しかったです。また来させていただきます。
- ・Do 以外をどう自分自身で表現できるのか、創り出せるかを悩んでいる今この頃なのでとてもためになりました。
- ・今日のような機会を繰り返していくことで少しずつ具体的なものになっていくような気がしています。仲間や知り合いが増えることは幸せなことです。
- ・自分が熱の入るものに気づくことができた。自分の今の状況に気づいた。
- ・もう少し余裕ができたなら参加したい。
- ・大人の人としゃべって楽しかった。
- ・知らない大人と自分のことを話すのははじめてですごく良い経験になりました。大人の方の考えも聞けました。こういう機会は良いと思いました。

[やや満足]

- ・時間が足りない
- ・とても楽しく取り組むことができました。仕事でのモノ事、その他様々な形でこの時間を活かすことができそうです。
- ・思ってもみない言葉を与えられ、おどろきました。

[普通]

- ・先生の話より、もっと参加者同士の話がもっとしかった。

8 効果:

- ・参加者同士のつながりが多くできた。
- ・市民活動をスタートするきっかけとなった参加者がいた。
- ・多岐にわたる活動、想いを整理できた参加者がいた。
- ・リードあしやの認知度があがった。

9 今後の対応:

- ・リードあしやとの協働や支援を求める参加者には連絡しサポートをする。

- ・別企画、チームビルディング講座を案内し、具体的な市民活動団体になるようにステップアップを促す

10 事務局振り返り

<良かったこと>

- ・クロストークで、昨年参加者がどうやって市民活動をスタートしたか、またどんな思いだったのかを共有できた。
- ・1F オープンスペースをはじめてWSで利用したことで、部屋の導線や机配置がよくわかり、市民活動WSの開催の参考になった。
- ・基調講演のテーマ「BEの肩書き」を参加者に理解してもらうこと、またそれがなぜ市民活動につながるのかを伝えることがうまくできた。
- ・昨年に引き続きターゲットにしていた30,40代、フリーランス、アクティブシニア、普段リードあしやに来館しない人などが多くみられ、新たな層の開拓となった。
- ・フェイスブック広告により、リードあしやの認知度が上がった。
(フェイスブックイベント>リーチ 5460 回答数 139)
- ・フェスタ開催後もSNS等で話題となり多くの拡散ができたため、リードあしや、市民活動フェスタの認知度が上がった。

<悪かったこと>

- ・集客が昨年より、悪かった。
- ・新しい試みの参加者同士のマッチングが時間も短く、WS内容も充実していなかったため、具体にはならなかった。
- ・部屋が狭かった。





登録団体交流会事業報告書

- 1 実施日：6月29日（土）10：00～11：30
- 3 参加者：2名（ときわ会／本間氏、Cool Kids Club／北村氏）
- 4 目的：登録団体紹介冊子の令和元年版の配布及び30年度の活動報告、今年度活動計画の情報交換ができる場とし、団体PRタイムを設けるなど自分の団体活動に生かせること、他の団体に生かしてもらいたいことの情報交換により連携推進の場とする。
- 5 担当：二宮毅行
- 6 配布物：登録団体紹介冊子「コンパス」
- 7 内容：登録団体へ交流会開催の案内が十分に伝わっていなかったことから2団体2名参加者に止まったため、参加者との懇談形式にて情報交換を行った。内容は以下に記載。

<団体紹介冊子に関すること>

- ・改訂した団体紹介冊子の評価については、索引（目次）が50音順のみとなっており、分野別・目的別索引を加えないと興味ある団体が探せない。（両氏より）
- ・メンバー募集がたりないため、掲載内容に入会を希望する人が応募しやすい項目を加えてほしい。（本間氏）
- ・配布方法として、リードあしやが発行している季刊紙に同封するのが確実ではないか。（本間氏）

<有効な広報手段について>

- ・青少年センターの掲示板は活動風景の写真も付けてリアル感を提供してPR効果がある。
- ・市内の公的施設の掲示板にリードあしやのコーナーを設けられないか。

<自団体が提供できること、提供してほしいこと>

- ・未就学児向け学び合いセミナーの出前講座（北村氏）

- ・留学生との交流会（北村氏）
 - ・イベント時のボランティアが欲しい。（本間氏）
- <リードあしやに求めること>
- ・他団体との交流の機会
 - ・開館時間（日曜・祝日及び夜間）の拡大

8 振り返り

- ・団体紹介冊子の編集、制作が遅れたことで交流会開催の案内が不十分だったことから参加者が少なかった。
- ・冊子での活動分野ごとの分類を設けることについては、登録団体申請書の現行の7分類（福祉・保健・人権・平和、教育・文化、まちづくり、経済・消費、男女共同、中間支援、その他）をより細分化（例えば、子育て、健康などといった分野の設定）する必要があると考える。
- ・少人数での情報交換は活発で貴重な意見が交わされたが、今年度の新規登録団体が加わり、季刊紙を発行する10月頃に再度交流の機会を設けてみたい。

<別添>

- ・リードあしや登録団体紹介冊子 2019年度 コンパス



季刊紙「リードあしや（46号）」封入作業・交流会 報告

- 1 日 時：10月2日（火）14：00～16：00
- 2 参加団体：7団体9名（（一社）相続総合相談センター芦屋支部、芦屋「九条の会」、リレーフォーライフ芦屋実行委員会、NPO 法人遺言相続専門家相談所ひょうご、ハウオリポリネシアンスタジオ、芦屋いきいき塾、CoCoCara、NPO 法人相続遺言・交通事故支援センター、あしや市民活動センター）
- 3 目 的：季刊紙郵送の際に、登録団体の広報支援として活用し、団体の交流の場として団体を繋いでいく。
- 4 内 容：チラシの同封希望団体から封入作業に協力することを条件に参加頂き、

休憩時には各団体の事業内容など情報交換し、交流を深める。

- 5 評価：季刊紙への同封希望団体が定着し、封入時期にイベントや講座の日程を合わせる団体もある。各団体が広報活動として上手に活用してきている。
- 6 成果：今回はイベントの紹介だけではなく、団体の活動内容や団体の思いなどを伝える団体があった。活動内容や目的などを知ってもらう良い機会にもなった。
- 7 振り返り：職員の担当者が変わり不慣れななか、参加者の多くが慣れており作業効率は良かった。交流会では、普段伺えない団体の活動への思いを聞けるよい場となった。

当日の様子



あしや市民活動センター登録団体交流会報告書

- 1 日時：10月29日（火）13：30～17：00
- 2 担当：二宮 毅行
- 3 参加者数：10団体11名（欠席 2団体2名）
- 4 内容
 - (1) 目的：団体紹介冊子の配布と団体間の交流促進を以って市民活動の活性化を目的とする。
 - (2) 内容：①アイデア交換会（テーマ：活動メンバーの集め方）
2グループに分かれて意見交換を行い、発表した。
②インフォメーションシートの作成
12月に実施の活動イベントで使用するインフォメーションパネル（会員募集，ボランティア募集等）の掲示用に作成した。
③団体交流会及びPRタイム
参加団体が活動内容をプレゼンし，他団体の活動とのコラボレーションマッチングが行われた。
- 5 振り返り
今回，本年4月以降に新たに加わった又は退会した登録団体があったことから，登録団体紹介冊子「COMPASS」の改訂を行い，そのお披露目も兼ねて団体交流会を実施した。参加団体は10団体11名であった。各団体の共通課題としてメン

バーの減少があがっており人集めの手法として以下の意見が出された。

- ① イベントを上手く絡ませる
- ② SNS による告知が効果的
- ③ 講師養成をした上で活躍の場を提供する

他団体と意見交換ができたことは有益な機会となった。

団体交流会では各団体がPRを行い、その場でイベントの企画を考えている団体と子ども向けのワークショップを行っている団体とのコラボ企画が生まれるといった交流や教室・施設利用者の募集案内などそれぞれの団体の活動内容を知ることができ有意義なものとなった。

また、リードあしやからは、

- ① ボランティア、講師や団体紹介などの人材マッチング
- ② チラシ等の配架、ホームページ、メールマガジン、ためまっぷ芦屋での情報告知などの広報支援
- ③ 団体運営相談
- ④ 市民活動に有益なセミナー等の開催
- ⑤ 貸会議室の活動場所の提供

といった主要機能と登録団体の優遇性をPRした。⑤に関して、地域の課題解決を目的とした使用の場合、市への申請許可により日曜・祝日を含めた時間外使用が可能となる旨の説明をしたところ、反応があった。平日夜間の使用ニーズは少なからずあるかと思われた。

講座風景



冬の市民活動ふれあいフェス『あんあーと』報告書

- 1 日 時：12月21日（土）13：00～16：45
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者数：約100名（出演者、出展者含む）
- 4 内 容

(1) 目 的：芦屋市を中心に市民活動にかかわる人たちの交流の場として、演芸やワークショップ、活動展示や物品販売を通して市民を楽しませることができる方（芦人認定者など）や団体に活動の発表やPRをしてもらうことで市民への理解を進め活動マッチングに繋げること、

及び、リードあしやを市民活動の拠点として活用促進してもらうことを目的とする。

(2) 内 容 :

① 芦人認定者認定証授与式

あしや子ども笑顔ネット 長城座長より挨拶と認定書授与7名が認定書を受け取り、挨拶を行った。

② 演芸ステージ

マジック (中田 敦)、二胡演奏 (芦屋 Tio クラブ)、絵本の読み聞かせ (本の虫ねっと)、フルート演奏 (STEP by STEP)、音遊び (すくすくあいね)

③ ワークショップ (個室)

クリスマス茶会 (渡辺直子)、子ども話し方教室 (小野山純子)

④ ワークショップ (ブース)

バルーンロケット・ペンシルロケット制作と的あて (大塚進康)、小石にペイント干支ねずみ (原田楽齋)、Scratch でプログラム体験 (小野山康憲)、ハンドマッサージ (メナードフェイシャルサロン 芦屋大原)

⑤ 展示販売

ふれあいカフェ (スマイルボランティア)、ラオスの民芸品・織物等展示販売 (ランサーン会)、スリランカの紅茶・スパイス等展示販売 (日本スリランカ友の会関西)、手作りアクセサリ・雑貨の展示販売 (野島さゆり)

⑥ 相談コーナー

芦人認定相談、ボランティア相談、パブリックコメント相談

5 振り返り

子ども笑顔ねっとが進めている「芦人認定」14名のうち7名を披露することができた。今回の各コーナーには芦人認定者を中心に12組の市民活動を行っている方や団体に出たが、来所者が時間帯によってばらつきがあったため、各コーナーの参加者に偏りが出てしまった。この点については出演者からも指摘があり、ダブリが出ないようなタイムスケジュールを工夫するなど多くのプログラムに参加できるよう配慮が必要であると感じた。

集客に関しては、告知が遅れ広報期間が短くなってしまったことで十分にできなかったこと、また、チラシでイベント内容がよく伝えられなかったことがより多くの集客に繋がれなかったことなどに改善点として捉えている。

今回の目的の一つとして、リードあしやの出演者と出演依頼のマッチング機能を挙げていたが、以下の3組のマッチングが成立の見込みであり、今後も実績を上げられるようマッチング機能を強化していきたい。

① 芦屋 Tio クラブ二胡合奏団と福祉施設、

② 中田さんのマジックと5月の芦屋イベント実行委員会

③ STEP by STEP フルード・キーボード演奏と5月の芦屋イベント実行委員会



季刊紙「リードあしや(47号)」封入作業・交流会 報告

- 1 日 時：1月6日(月) 14:00~16:00
1月7日(火) 14:00~16:00
- 2 参加団体：4団体9名((一社)相続総合相談センター芦屋支部、野いちごコーラス、NPO法人遺言相続専門家相談所ひょうご、CoCoCara、
- 3 目的：季刊紙郵送の際に、登録団体の広報支援として活用し、団体の交流の場として団体を繋いでいく。
- 4 内容：チラシの同封希望団体から封入作業に協力することを条件に参加頂き、

休憩時には各団体の事業内容など情報交換し、交流を深める。

- 5 評価：季刊紙への同封希望団体が定着し、封入時期にイベントや講座の日程を合わせる団体もある。各団体が広報活動として上手に活用してきている。
- 6 成果：チラシのイベントの紹介や団体の活動内容、団体の思いなどを伝える団体があった。活動内容や目的などを互いに知る良い機会にもなった。
- 7 振り返り：少人数での交流会となったため、親近感が沸きやすく、和やかな雰囲気で行えた。日常的な交流のない団体の活動きっかけ等も聞くことが出来、よい場となった。

当日の様子



「ふれあいカフェ」年間報告

1. 日時：毎月第2土曜日 13:30～16:00
2. 参加団体：8団体
3. 参加者人数：大人315人、子ども273人、プログラム参加者634人
4. 参加者からの振り返り
 - ・参加者が少なかったが、みんな真剣に話を聞いてくれてよかった。
 - ・キッチンでスイーツを作ったので、器材が乏しく大変だった。
 - ・プログラムの参加者へ無料チケットを配布したので、とても喜ばれた。
 - ・広報が難しく、カフェを一緒に実施してくれる方がたくさんいた方がよかった。また、若い世代のカフェ参加者も増やしたい。実施してわかった事も多かったが、やってみないとわからないと思った。
 - ・キッチンのカウンターが子どもには高かった。
 - ・自分たちでも告知に力を入れないといけなかった。
 - ・想像していたより、たくさんの方に参加していただき、ありがたかった。また皆さんがそれぞれ一所懸命リースを作成されて嬉しかった。もう少し「ものを大切に」ということを伝えた方がよかったのではないかと思います。
 - ・当日の会館利用の方にも参加していただき、楽しい雰囲気で開催できました。
 - ・専門分野の違う出店、来場者のコミュニケーションは取れたと思うが、もう一つの環境にやさしいサステナブルな暮らしの提案でのフリーマーケット出店が少なかったのが残念でした。次回への課題にしたいと思います。
 - ・準備の段階から、皆が協力し、今後の活動への意欲ができました。

5. 全体の振り返り

- ・今年度より1階キッチン付きオープンスペースでの実施になり、カフェが提供しやすくなったと好評だった。
- ・利用団体は経験者が多かったため、打合せはスムーズだった。
- ・広報について、広報あしやへの掲載記事〆切が実施月の2カ月前なので、団体プログラムの内容が決まっていなかったが多かった。
- ・実施10回中すべての団体が、実施目的が達成できたと回答があった。

6. 今後の対応

- ・実施団体が自ら広報を行い、集客できる仕組みを考える。
- ・実施団体の活動紹介や目的などがアピールできるように促していく。

7. 実施の様子



4月リードあしや



5月あしや健康倶楽部



6月リードあしや



7月ポイエシス



8月スマイルボランティア



9月がんばるママーズ



11月あしやエコクラブ



12月ふれあいギャラリー



1月ポイエシス



2月サニーカフェ

法人立ち上げ・団体運営 半dayスクール事業報告書

1. 実施日：6月8日（土）13：00～16：00
2. 参加者：のべ62名（1時間目20人、2時間目21人、3時間目21人）
3. 目的：団体立ち上げから運営に伴う助成金等資金調達、報告書の作成等の支援として勉強会を行う。団体の立ち上げから持続的な活動に繋げることと共に本施設の利用促進を図る。
4. 担当：二宮毅行
5. 講師：増本有紗氏（オフィスメイト）、横山宗助、二宮毅行
6. 配布資料：レジュメ、
参照資料（特定非営利活動に係る事業の種類、法人税収益事業34業種一覧表、法人県民税均等割減免について、新非営利法人制度パンフレット、助成金申請書作成フォーム、NPO法人決算から総会、報告までの流れ）
7. 内容：1時間目「団体を立ち上げるための多様な組織形態」
2時間目「助成金の種類、特性、書き方」、
3時間目「会計報告のコツ」
Aクラス 登録団体向けに事業報告書作成アドバイス
Bクラス NPO法人向け活動計算書等作成講座
8. アンケート（回答数20）：
（講座内容は）とても役立った…15名、少し役立った…5名
 - ・資料や説明が分かりやすかった。45分は短くて60分くらいは欲しかった。
 - ・多様な法人格の違いがよく分かった。近々の起業を検討します。
 - ・簡潔に具体的ポイントを教えていただき、とても勉強になりました。団体での活動を始めることを決めて、助成金も申請しようとしているのでタイミングが良かった。何をすればよいかははっきりした。
 - ・可能ならばもっと深く具体的に教えてほしい。
 - ・お金の管理は何の活動をするにせよ大切だと思った。
 - ・個別相談にいこうと思います。 など
9. 振り返り
 - ・近日中の事業を考えている、任意団体からの法人化を検討中、自治会で地域活動中、NPO法人の立ち上げを検討中、定年後の活動を模索中など様々な方が参加された。
 - ・3時間の選択制としていたが、法人の立ち上げから資金調達（助成金）、お金の管理といった一連のテーマであったためか、ほとんどの方が3時間目まで通して受講していた。
 - ・芦屋市民以外のみならず、神戸市から尼崎市の阪神間からの参加があり、遠くは摂南市からの参加者もあった。
 - ・NPO法人などでの起業を近日中に考えている方が3組ほどいらっしやっただこ

とから引き続きフォローしていくことでリードあしやの利用に繋げていきたい。



「君も今日から新聞記者」セミナー報告

- 1 日時：8月6日（火）10：00～16：00
8月8日（木）9：30～13：00
- 2 会場：リードあしや会議室C
- 3 講師：小森準平氏 武藤邦生氏（神戸新聞社）
- 4 参加者：8人
- 5 目的：子どもの頃から市民活動に触れて、知って、理解を深める環境をつくること。世代を超えたふれあいと、次世代を担う人材育成、活動人口増加を目的とする。人の話を傾聴し、文章化することから、自身が理解でき、次へ伝えることのできることの喜びを実感できればと希望している。
- 6 内容：①基礎学習（文章の書き方、写真の撮り方など）
②インタビューの練習
③芦屋市長のインタビュー、新聞発行
- 7 振り返り：参加者が少なかったが、内容はよかった。
芦屋市内の中学・高校全校にチラシをお送りしたり、神戸新聞にも募集要項が掲載されたりしたが反応が薄かった。
唯一、クラーク記念国際高等学校防災部が興味を示した。
今回のセミナーを第1回目として、今後参加希望者には都度対応していく事に、神戸新聞社の協力を得た。
内容的には、学びと実践があり、新聞という成果物も持ち帰ることができ学生たちも満足したようだ。
次回の活躍の場として「災害時対応セミナー」にも参加いただき、この活動を継続していく。
- 8 評価：神戸新聞社との協働は2年目となる。報道との協働で、活動を広く知らしめ、現役の記者の技術を伝授していただき文章力が向上した。今回は芦屋市長のご協力で、直接インタビューし新聞を発行したことでより達成感を得ることができ学生の意欲がアップされた。年度内事業としてではなく「新聞チーム」ボランティアとして立ち上がることが期待できる。

芦屋で始めるクラウドファンディング講座報告書

1 日 時：8月22日(木) 19:00～21:00

2 担 当：二宮 毅行

3 参加者数：26名(他 オブザーバー2名)

4 講 師：生島 正氏 (FAAVO by CAMPFIRE)

5 内 容

(1) 目 的：クラウドファンディングとはどのようなものかを成功事例を参考に基礎を学び、プロジェクトを企画・実施するまでに必要なものを掴み実践に活かすことを目的とする。また、プランを持っている方のフォローアップをすることで起業支援実績に繋げていく。

(2) 内 容：クラウドファンディングとはどのようなものかを理解する。
始める前と始めてからのポイントを掴む。
成功事例を学ぶ。

6 アンケート結果：回答数：20

【満足度】

とても役立った…19、少し役立った…1、物足りなかった…0

役立たなかった…0

- ・大きな世界を見ました。楽しかったです。(60代・男)
- ・クラファンやります！(40代・女)
- ・クラウドファンディングについて勉強になりました。(60代・男)
- ・芦屋キワニスクラブのメンバーですが、クラブ運営に生かしたい情報もありました。ありがとうございました。(70代・男)
- ・クラウドファンディングに興味があったので非常に役に立ちました。
- ・勉強になりました。(30代・女)
- ・初めて詳しくお話を聞き是非挑戦させて頂きたいと思いました。(50代・女)
- ・クラウドファンディングの仕組みやコツがよくわかりました。(30代・女)
- ・予備知識がなかったけど概要が理解できました。(60代・女)
- ・具体的な流れや重要なポイントを分かりやすく簡潔にご説明いただいたので、とても良かったです。(20代・女)
- ・プロに基本的な事を教えていただき現状がわかりやすかったです。(40代・男)
- ・SNS投稿し普段から積極的に自己アピール事前準備なしに進まず。(60代・男)
- ・事例での説明でしくみがよく分かった。(70代・女)
- ・準備段階、プロセスの重要性がよく理解できた。(60代・男)

【参加理由】(複数回答)

- ・クラウドファンディングに興味がある。勉強してみたい。…………… 16
- ・立ち上げてみたい具体的なプロジェクトがある。 7
- ・ざっくりしたイメージであるが、考えているプロジェクトがある。………… 6

- ・ CAMPFIRE のサポートを受けてみたい。 4
- ・ リードあしやから案内があったから。 3
- ・ その他(facebook からの招待など) 2

【リードあしやのサポートについて】(複数回答)

起業相談 5、運営相談 1 2、情報提供 1 4、ネットワーク紹介 8 その他 1

【開催してほしい講座・イベント等】

- ・ 効率的、効果的なボランティア募集の方法について
- ・ 個人事業主の役に立つ情報やイベント講座などの企画をして頂きたいです。
- ・ SNS

7 振り返り

昼間仕事を持っている方も参加できるように夜間講座を開催したが、26名(欠席者は1名)の参加者がありほぼ定員の集客をすることができた。クラウドファンディングへの関心度の高さがうかがえた。講座内容はクラウドファンディングの基礎編であり、参加者は具体的にクラウドファンディングを考えている方、クラウドファンディングとはどのようなものかと興味がある方など様々であったが、内容が分かりやすかったと満足度は高いものとなった。(6アンケート結果ご参照)

今後、具体的にプロジェクトを進めたい方向けに9月中に実践編を開催する方向で検討することとした。市民活動や起業等に繋がる一連のサポートを提供していく。

以上



芦屋で始めるクラウドファンディング講座 実践編報告書

- 1 日 時：9月30日(木) 19:00~21:00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者数：5名(他 オブザーバー1名)
- 4 講 師：生島 正氏 (FAAVO by CAMPFIRE)
- 5 内 容

(1) 目 的：クラウドファンディングの基礎編の参加者に対して、考えているプランをより具体的にカタチにしていく講座として実践編を行うも

の。自分のプランを参加者で共有しブラッシュアップすることでプロジェクトの立上げに繋げることを目的とする。

(2) 内 容：成功事例を学ぶ。

ワークシートを活用してプロジェクトをつくる。

内容の発表&ブラッシュアップを行う。

6 振り返り

今回の実践編は、基礎編（8/22）の参加者を中心に案内し5組6名（内、1名は職員）が参加した。自分の行いたいプロジェクトをワーキングシートに記入して発表し、講師のコメントやアドバイスを受けながらプランをブラッシュアップさせていった。その中で、クラウドファンディングの成功の可能性を感じるプランがいくつかあり、今後リリースに向けたフォローをしていきたい。反面、まだ具体的に定まっていないものなど講師から有益なアドバイスが得られなかったプランもあったことから有料講座への評価が分かれた感があった。後者にはより丁寧なサポートが必要と思われる。

2回のクラウドファンディング講座における実績として、基礎編の参加者から3件のクラウドファンディングプロジェクト（※次ページ参照）がリリースされ、うち2件については、リリース後、僅か3日間で目標金額が達成された。今後もこのように実績に結びつく活動の後押しができる場や仕掛けづくりを行っていききたい。

講座風景



※クラウドファンディング実績

①秋岡 雄一さん（日本酒バー店主）

「元蔵人が厳選した全国の知られざる銘酒を飲んでもらいたい（飲酒運転撲滅プロジェクト）」

目標額：20万円（達成）



②高橋 リエさん (芦屋ジャズフェスティバル実行委員会)

「神戸ジャズクィーン『高橋リエ』ファーストアルバム制作～Swing Jazz の魅力」

目標額：30万円 (達成)



③クリス チアリさんと友人 (芦屋ジャズフェスティバル実行委員会)

「サントラ CD 付！大人の恋愛紙芝居！君と僕とパリを出版したい」

目標額：52万円



社会的な価値を生み出す事業のツクリカタ報告書

- 1 日時：①9月21日②9月28日③10月12日(土)各19時～21時
 - 2 参加者：延べ20名(①8人②8人③4人→台風のため欠席4人)
 - 3 目的：市民活動や事業をスタートしたがマネタイズ、仲間集め、ビジョンなどの理由で伸び悩む団体や個人を「社会的な価値を生み出す事業」に昇華する。
 - 4 担当：横山 宗助
 - 5 講師：グロンデル エスベン (サービスデザイナー)
 - 6 内容：1日目 参加者によるピッチ、サービスデザイナーからのアドバイス
2日目 「サービスデザインとは」講座、サービスデザインツール紹介
3日目 参加者のカスタマージャーニーマップのブラッシュアップ
 - 7 振り返り
 - ・サービスデザインという手法を市民活動に取り入れるという新しい試みが参加者にとって新鮮で気づきを多く得ていただいた
 - ・サービスデザインのツールは十分市民活動でも使えるので、今後、個別相談でも活用したい。
- ～ツール～
- ・ライフジャーニー (顧客が人生の中でどう事業と関わるのかを整理する)
 - ・ステークホルダマップ (事業における利害関係者を整理する)
 - ・2x2 (事業のポイントとなる要素を縦軸と横軸にし、業界における位置付けをし、コンセプトを決める)
 - ・カスタマージャーニーマップ (サービスの流れを時系列で整理する)
 - ・8人という少人数制での開催としたが、個別アドバイスを考えると4人くらい

の参加者がベターだった。

- ・内容についていけない参加者も見受けられたので、参加者はある程度事業をスタートできている人に向いていた。
- ・夜のオープンスペースでの開催で雰囲気よく進行した。
- ・広報、連絡などすべてオンラインで行うことで事務局の負担が少なかった。
広報>フェイスブックイベントのみ (チラシなし)
連絡>フェイスブックイベントのみ (メールなどを使わずイベント内で共有)

以上



第31回芦屋さくらまつり清掃ボランティアコーディネート事業報告書

- 1 実施日：4月6日(土) 8:00~21:00・7日(日) 7:30~22:00
- 2 参加者：82名 (内実行委員9人 学生14人 企業7人 団体42人
一般5人 職員5人)
- 3 参加団体：8団体 (芦屋大学ボランティア部 aqua、甲南高校、甲南大学アイスホッケー部、朝日ヶ丘町自主防災会、東山町自主防災会、尼崎信用金庫阪神芦屋支店、AC30期、芦屋ガールスカウト)
- 4 活動内容
 - ・清掃ボランティア実行委員会を1月7日(月)発足
構成は、大学生4人、高校生2人、職員4人
会議を重ね、3月30日(土)にオリエンテーションを開催した。
 - ・まつり当日は、ボランティアテントにて活動説明、休憩所の運営、ゴミ箱とゴミステーションを設け、ゴミ収集に努めた。また、ゴミ分別の徹底と啓発に努めた。

- 5 振り返り
【実行委員会】

- ・大学生は経験者が1人であり、1日目は慣れない様子であったが、2日目からは動きがスムーズであった。
- ・持ち場の確認不足などで、休憩や食事時間の配分が難しかった。
- ・ボランティアの振り返りはボランティアブースの方がよかった。
- ・ビンの箱を小さくする等工夫を施したが袋が大きかったせいで重たくなった。
- ・ゴミ箱90リットルを70リットルに戻す。(昨年、購入時に間違い、今年度も間違えたままであった。)
- ・最終のゴミ箱の片付け時間が行政と共有できていなかった。
- ・休憩所では、高校生と小学生のカフェが人気であった。

【活動全般】

- ・桜は満開、天候に恵まれたため、来場者が多く、ゴミの量も膨大だったため、ゴミを回収するのに追われた。
- ・啓発活動が疎かになる場面があった。
- ・近隣の町内の巡回をしたが、ゴミを落としているケースはなかった。

【出店者】

- ・ゴミ回収時間を出展団体に知らせたことで、燃えるゴミはほぼ回収できた。
- ・JR上のブース横の通路を出展団体が占領しているため通行しにくく、来場者にも迷惑をかけているようだった。
- ・段ボール、発砲スチロールなど捨てやすいように細かくしてほしい。
- ・例年同様、竹串、爪楊枝など先の尖ったものが多く危ない。

【一般来場者】

- ・来場者のマナーはほぼ向上している。進んでゴミを片付けていた。
- ・一部、テーブルの上に飲食したものを放置して帰る方があった。(特に若い子育て世代の家族)

【清掃ボランティアの感想】

- ・リードあしやでゆっくり休憩をできた。
- ・みんなと協力出来てよかった。
- ・子どもたちがゴミを分別する姿が嬉しかった。
- ・来場者に感謝の言葉をいただき、やりがいを感じた。

【接触事故】

- ・ボランティア運ぶゴミ袋と来場者との接触事故が1件あった。

6 今後の対応

【実行委員会】

- ・昨年度の経験者1名、他は初めての学生中心であったが、継続を希望する声上がり、来年度への期待大。

【出店者】

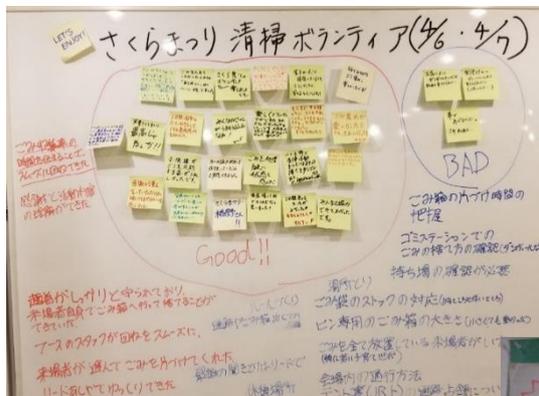
- ・清掃ボランティアとして参加を出店条件にすることを昨年に続き提案する。
- ・飲食テントから出る竹串や、発砲スチロールをエコ回収できるよう啓発する。

【会場及び来場者に関して】

- ・ゴミの分別を広く呼びかける。
- ・帰宅途中でもゴミ箱以外のところに捨てない、モラルのある対応を期待したい。

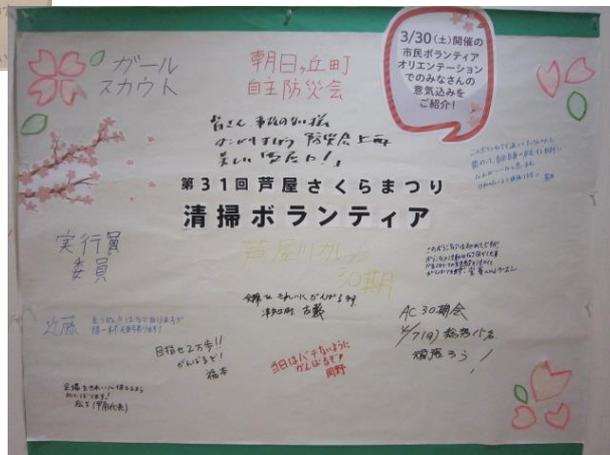


4月7日(日)
実行委員会振り返りと
ボランティアの意見



4月6日(土) 7日(日)
ボランティアの感想

3月30日(土)
ボランティアの意気込み



リードあしやガーデンづくりボランティア報告

- 1 日時：7月29日(月) 10:00~12:00
- 2 会場：リードあしや会議室C オープンスペース1
- 3 講師：藤山 文 氏
- 4 参加者：15人(3歳1人、小学4年生1人、中学2年生4人、大学生1人、40代1人、60~70代7人)
- 5 協力：日本四季大学(当日カフェ3人)、サントリーフラワーズ(株)

加西フラワーセンター

5 目的：あしや市民活動センターのグリーン環境を充実させると共に、園芸に興味のあるボランティアの育成を行う。

6 内容：3グループに分かれて土づくりと花苗植え、休憩時に交流会

7 アンケート：とても役に立った11人、次回も参加したい7人（複数回答あり）
今後開催したい講座等

- ・IT講習会、スマホ教室（Icloud、Line等） ・何かをつくる体験
- ・サッカー体験（長友選手の講座）
- ・小学生参加（放課後etc）、幼児向けイベント
- ・まち発見マップ作成とかのコミュニケーションが生まれるもの
- ・自分たちで作ったものを、みんなに見せる喜びが生まれるもの

感想：

- ・講師が丁寧で非常に良かった。日陰での作業で疲れることもなく楽しい時間でした。
- ・先生の説明が分かりやすかった。PPTを使った説明が欲しかった。
- ・食虫植物のお話を聞いて楽しかった。
- ・食物にふれる機会に出会えてよかった。育て方の説明は参考になりました。
- ・普段あまり植物に触れ合うことがなかったので楽しかった。
- ・普段花を植えることがないので良い経験になったと思います。思ったよりしんどかったのが驚きました。
- ・土にふれられたので良かった。
- ・いい経験が出来て良かったです。これからの人生に役立つ素晴らしい経験でした。また、やりたいです。
- ・美味しいお茶と、甘酒ゼリーも美味しかったです。
- ・山野草等興味があるので今後も時間が許せば参加したい。
- ・土の作り方を学べてよかった。
- ・友人といっしょに園芸作業をするのは楽しかった。機会があれば参加したい。
- ・とても楽しく、特に花を貰えるのがよかった。
- ・多世代混合のグループ分けがいいのでは？
- ・中学生に学校名を聞いたり、地域の話を中心に話を進めたのが印象的、初めての人同士のコミュニケーションは共通点をうまく探すことがコツだと感じた。
- ・植物に興味のない人も多かったように見えたが、仕事を与えると真剣にしっかりやってくれた。自主性の必要性をととても感じた。

8 評価：前回同様に、サントリーフラワーズ株式会社からは花苗を頂戴した。

加西フラワーセンターからは、食虫植物をお借りし、中学生は食虫植物に興味があって参加されたようだ。

今回の参加者は、3歳から70代まで15人だった。Facebookを見て、

淡路島から参加された学生もいた。

ガーデンづくりボランティアとしては初めての試みであったが、参加された方々はアンケートからも分かるように、前向きに楽しく取り組めた。専門家の指導の元、事前準備を行い、当日にも講師の指導があったことで、学びの場にもなった。

日本四季大学さんに「朝カフェ」をご協力いただき交流の場となった。多世代が交流するよい機会ではあったが、談笑するまでにはならなかった。



第31回あしや秋まつりボランティアコーディネート事業報告書

- 1 日時：10月13日（日）9：00～14：00
- 2 会場：芦屋市公光分庁舎
- 3 参加者：16名（AC32期サニーカフェ6人、尼崎信用金庫6人、芦屋山ぼうし2人、aqua1人、市民1人）
- 4 活動内容：会場の清掃と見回り、駐輪場の整理、まつりの各イベントの補助
- 5 振り返り：

【会場清掃、見回り、駐輪場整理】

- ・出店も飲食が無かった為、ごみが少なかった。建物周りはきれいに保っていた。
- ・道路沿いは警備員が多かった為、安心だった。
- ・駐輪場は、混雑は無かったが、車止めでつまずいてケガをされた方があった。

【スーパーボールすくい】

- ・子どもの参加が多く、桶の準備が1つだった為多い時間は混雑していた。
- ・担当スタッフは内容の引継ぎ説明が出来ておらず、ボランティアの交代にも支障があった。

【餅つき（リードあしや内オープンスペース）】

- ・会場内が 50 人を超える人数になった為、ベビーカーの持ち込みや餅をつく子どもが危険だと感じた。
- ・オープンスペースでは、子どもカフェ（スマイルボランティア）と、餅つきの参加者が入り混じっていた。

【ぜんざい振る舞い（リードあしや駐輪場）】

- ・ボランティアも配膳、誘導、容器販売の補助を行った。
- ・大好評だったが、整理券などの対応がボランティアには伝わっておらず、苦情が多くあった。

6 今後の対応

- ・今年度は、場所や内容に変更があり清掃だけではなく様々なボランティア活動を行ったが、各ブースの内容が細かく伝えられておらず、ボランティアが苦情を受ける場面があった。
- ・来年度は、依頼内容により大切な部分は細かく打合せをし、ボランティア参加者が戸惑わず活動できるようにコーディネートする。

7 ボランティア参加者の感想

- ・ぜんざいの振る舞いでは、整理券の渡し方や並び方などでボランティアも苦情を受けたので、内容を共有しておきたかった。
- ・ぜんざいの予備にきな粉でも準備があれば良かった。
- ・駐輪場を使用した為、少し足元が危なかつた。
- ・大盛況で良かったが、場所がせまく残念だった。



グリーン&フラワーセミナー報告（自主事業）

- 1 日 時：6月13日（木）10：00～12：00
- 2 会 場：リードあしや会議室D オープンスペース1
- 3 講 師：藤山 文 氏
- 4 参加者：10人（定員10人）
- 5 目 的：あしや市民活動センターのグリーン環境を充実させると共に、園芸に興味のあるボランティアの育成を行う。

- 6 内 容：①説明をしながらの鉢植え実習
②オープンスペース1の前庭にて実習
③座学での講習
- 7 アンケート：とても役に立った9人 少し役に立った1人
今後開催したい講座等：インテリア、植木
感想：
・隣の声が大きくて聞こえにくくて残念でした。
→8人ほどのグループがお茶をしていた、紙折り機の音が響いた。
・楽しく参加出来ました。
・今まで数多く失敗していたので「納得！」とうれしくなりました。
・丁寧に説明して頂きわかりやすかったです。お花と葉のカーテン
を楽しみに水やり、つみ、花柄摘みをしたいと思います。
・丁寧に実践もあり楽しかったです。花の成長が楽しみです。
・今年はグリーンカーテンを作ります。
・楽しく大変勉強になりました。
・自己流で花を育てていたのでとても勉強になりました。単なる
花好きからこの機会を頂いたので少し上級の花好きになりたい
と思いました。
- 8 評 価：サントリーフラワーズ株式会社からは花苗を頂戴し、葉っぱリサイクル
からは堆肥を安く分けていただいた。今後ご協力を頂けることになり
良い繋がりができた。
参加者も定員となり、皆様満足でお帰り頂いた。ほぼ全員の方が次回も
参加希望であった。
オープンスペース前も華やかになりこの夏が楽しみである。



グリーン&フラワーセミナー第2回報告 (自主事業)

- 1 日時：7月8日(木) 10:00～12:00
- 2 会場：リードあしや会議室C オープンスペース1
- 3 講師：藤山 文 氏
- 4 参加者：6人 内1人材料のみ(定員10人)
- 5 目的：あしや市民活動センターのグリーン環境を充実させると共に、園芸に興味のあるボランティアの育成を行う。
- 6 内容：①説明をしながらの鉢植え実習
②オープンスペース1にてロープワーク実習
③座学での講習
- 7 アンケート：とても役に立った5人
今後開催したい講座等：公園、街路樹などの植物の名前を知る
感想：
 - ・楽しくきれいな空間で講座を受けることができてよかった。
 - ・ゆっくり指導していただける人数だったので、豆知識も増えました。家で役立てたいと思います。
 - ・いろいろ盛沢山の話、よかったです。
 - ・初めての経験でとても楽しかったです。
 - ・ハンギングは初めてしました。楽しめました。
- 8 評価：前回同様に、サントリーフラワーズ株式会社からは花苗を頂戴した。
参加者は定員に満たなかったが、皆様満足でお帰り頂いた。
土を使っでは会議室を利用し、座学はオープンスペース1を利用しているが、参加者以外でオープンスペース1利用の方が興味を持って耳を傾けている様子が見え、良いPRの場になっている。
駐輪場を覗いて帰る方や、内容を聞いてくる方がおられた。次のガーデン作りボランティアの立ち上げのためにも効果があると考えられる。



グリーン&フラワーセミナー第3回報告

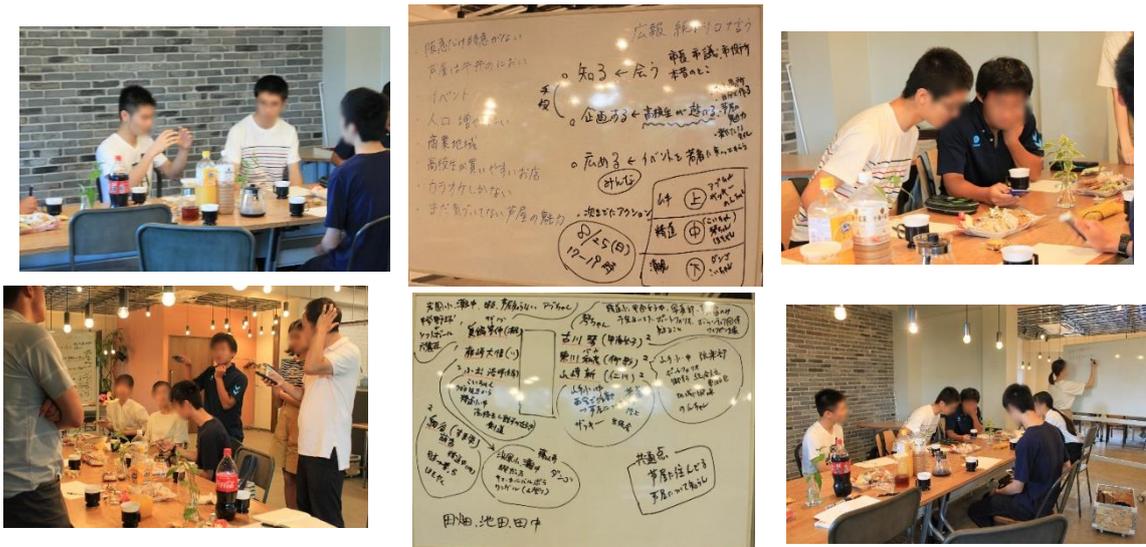
- 1 日時：11月25日(木) 10:00~12:00
- 2 会場：リードあしや オープンスペース1
- 3 講師：藤山 文 氏
- 4 参加者：14人 内小学1年~4年生6人 (定員20人)
- 5 目的：工作から園芸を楽しみ、来年に向けてのリードあしや演芸ボランティアのPRを行う。
- 6 内容：①植木鉢にデコパージュ
②デコパージュした洋菊コロロの植え付け方の説明
③庭の菊、洋菊コロロ、土をプレゼント
- 7 アンケート：
 - (1) 参加された講座内容について
とても役に立った12人 少し役に立った2人
感想：
 - ・充実した内容でとても楽しかった。(60代)
 - ・肥料の入れ方に気を付けないといけないことを知りました。(40代)
 - ・きれいなお花がいっぱいあってよかった。(小学4年)
 - ・生花もとても楽しかったです。ラベルはただ貼るだけではなく、色々な工程があり勉強になりました(40代)
 - ・とても楽しかったです。盛沢山で準備が大変だったことと思います。土づくりの割合など基本的な事もわかり良かったです。お土産沢山をたくさんいただいて嬉しいです。(60代)等、全員が楽しかったと書かれていた。
 - (2) リードあしやガーデンボランティアについて
参加1人 時々参加5人 興味はあるが参加は難しい6人 不参加1人
意見：
 - ・とても良い空間。部屋からお庭が見えるのがとてもみ癒されます。(60代)
 - ・バラを植えたらいいと思います。(小学4年)
 - ・池をつくり、その周りに花を植えればいいと思います。(小学3年)
- 8 評価：
 - ・開催日を変更したことで参加者が増えたことはよかった。
 - ・山手小学校が振替休日であったので、1年生から4年生まで6人の女子児童3家族が参加された。2組の家族は遅刻をされ、入室時に講師の話の妨げる行為があったが、当人たちは気にされていないようだった。
 - ・デコパージュ、展示している菊を採取してのアレンジメント、洋菊コロロ+土のプレゼントと植え付け方法など、内容が盛沢山で、受講者には楽しんでいただけた。来年度のボランティアに繋げていければと希望している。



あしや部報告 (自主事業)

- 1 日 時：7月15日 (月・祝) 15:00～19:00
- 2 会 場：オープンスペース1
- 3 主 催： 田畑北斗氏 池田拓也氏 (芦屋在住高校教諭)
- 4 参加者：高校生7人 (灘、仁川、甲南女子、須磨学園、県立兵庫、県立御影)
(親和女子、報徳学園欠席)
- 5 目 的：芦屋在住の高校生による交流ミーティング 芦屋の今とこれからについて語り合う場を作る。
- 6 内 容：高校生が感じる芦屋の状況を語り合う。
参加のきっかけや思い、芦屋への思い、芦屋への疑問
 - ①動く・企画する
高校生が遊べる魅力的な芦屋はあるのかを、中学校区を基準に上・中・下にわけて次回8月25日(日)までに調査!
 - ②知る
調べてわかることも多いけど、人に会ってもっと芦屋のことを知りながら活動しよう!
まずは市長、市議、市役所職員などの公の人。→市長と日程調整中
 - ③広めよう
市内でどんなイベントがあるのか、知らないことに気づいた。気づいたイベントを自分たちの手でどんどん拡散していく!
- 7 評 価：次の開催が実現できた。
主催の先生方の思い入れが大きく、高校生との温度を同じくすることに開催1時間は悪戦苦闘であったが、芦屋への疑問を語りだしたころから高校生も感じるところが大いにあったようで①②③の方針が決定した。行政とのかかわりについては戸惑いが多少はあるようだが、そこは大人

の力を借りて乗り切ることになり今後が楽しみである。



あしや部報告 (自主事業)

- 1 日時：8月25日(日) 17:00～19:30
- 2 会場：オープンスペース1
- 3 主催：田畑北斗氏 池田拓也氏 (芦屋在住高校教諭)
- 4 参加者：高校生5人(灘高、仁川、兵庫、須磨学園)
- 5 目的：芦屋在住の高校生による交流ミーティング 芦屋の今とこれからのについて語り合う場を作る。
- 6 内容：前回の宿題と、高校生が感じる芦屋の状況を語り合う。
 - ①動く・企画する
高校生が遊べる魅力的な芦屋はあるのかを、中学校区を基準に上・中・下にわけて次回8月25日(日)までに調査！
→調査できたのは1カ所のみ、芦屋の一部に店舗は集中している。
 - ②リードあしやのチラシから芦屋の何かを探す。
広報あしやから甲南大学生がリサーチしたことを掘り下げる。
→地域経済振興課とコンタクトをとる。
 - ③市長とのタウンミーティング
→日程調整に入る。
- 7 評価：体調不良等で欠席者があった。この会自体がまだ、自分のものになっていないと感じられた。少しずつでも楽しみの場となっていけばと願う。全市に渡り、様々な似たような活動が展開されているが、彼らの目には留まっていないことがよく分かった。ただし、芦屋市は未就学や小学生のイベントは多いが、中高生のそれは少ない。
市民活動団体においても、中高生は忙しいとインプットされていることが大きいように思う。学校外の学びの場、憩いの場の提供ができる仕組み

みを作る必要性を感じている。来年度の課題とする。



ようこそ！わたしたちの未来へ

ートークセッション・憲法&平和 de まちづくりー報告

- 1 日 時：11月17日（日）14：00～16：00
- 2 会 場：芦屋市民センター
- 3 主 催：芦屋・西宮の未来のまちづくりを考える実行委員会
立法主義と平和を守る西宮の会、芦屋九条の会、(特活) あしやNPO センター 協賛：芦屋東ライオンズクラブ
- 4 参加者：102名
- 5 目 的：任期満了で退任した山中健・前市長を及びして、日本国憲法を守る信念を持って16年にわたり芦屋市制に取り組んできた足跡をたどりながら、私たちの生活やまちづくりに活かされる憲法の理念を再発見し、私たちの地域の未来や平和について考える。
- 6 内 容：
＜スケジュール＞
 - ・12:00-13:00 リードあしやで昼食をとりながら顔合わせ&打ち合わせ
 - ・13:00-13:30 市民センター102号室へ移動
 - ・14:00-16:00 トークセッション
＜パネリスト＞
 - 山中健さん（前芦屋市長）
 - 吉江仁子さん（明日の自由を守る若手弁護士の会）
 - あしや部
 - 小出ひろきさん（高2・兵庫高）
 - 山崎新さん（高2・仁川学園）
 - 真鍋宇伸さん（高1・灘高）
 - 細谷萌香さん（高2・須磨学園）
 - 藤崎大悟さん（高1・灘高）
＜コーディネーター＞
 - 津久井進さん（あしやNPOセンター／立憲主義と平和を守る西宮の会）
＜講評＞
 - 長岡 徹さん（関西学院大学教授／立憲主義と平和を守る西宮の会）
- 7 評 価：

- ・参加者は小学生の参加があるなど3団体が通常開催している事業に参加していない面々であり、参加者からは「高校生の意見が新鮮であった」「時間が足りない」など評価は高かった。
- ・3団体の協働事業であり、役割分担など難しいことも多々あったが、団体の得意分野を生かすことが出来、知ることができた良い機会となった。
- ・芦屋に思いを寄せる大人たちと、登壇した高校生がいる限り芦屋の未来は明るい！と感じた1日でした。長岡先生からも同様の講評をいただいた。
- ・芦屋市、西宮市、芦屋市教育委員会の後援名義、芦屋東ライオンズクラブの協賛をいただき、神戸新聞社、朝日新聞社などマスコミでも取り上げられ、効果的な広報ができた。



第13期(令和元年度(平成31年度))活動計算

(特活) あしやNPOセンター 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	160,000	
賛助会員受取会費	45,000	205,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		76,437
3. 受取助成金		
受取助成金		500,000
4. 事業収益		
あしや市民活動センター指定管理料	31,200,000	
会議室利用料	1,151,120	
印刷機等利用料	2,637,354	
講師派遣	84,333	
事業収益	1,844,799	36,917,606
5. その他収益		
受取利息	104	
その他収入	61,176	61,280
経常収益計		37,760,323
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	19,367,216	
法定福利費	2,079,392	
福利厚生費	32,039	
ボランティア謝金	70,116	
通勤交通費	536,256	
人件費計	22,085,019	
(2) その他経費		
業務委託費	1,171,410	
諸謝金	870,511	
支払助成・寄付金	10,000	
広告宣伝費	10,000	
会議費	0	
通信運搬費	478,354	
活動交通費	59,530	
相談員謝金	41,021	
消耗什器備品費	994,741	
消耗品費	2,029,982	
修繕費	104,367	
水道光熱費	2,031,406	
新聞図書費	22,154	
支払手数料	39,762	
印刷製本費	907,114	
会場費	2,380	
リース料	1,626,842	
保険料	75,710	
租税公課	972,695	
支払報酬費	40,000	
研修費	26,500	
諸会費	0	
会館管理費	1,580,738	

会館修繕費	797,740		
事務局費	992,446		
減価償却費	29,808		
その他経費計	14,915,211		
事業費計		37,000,230	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	249,230		
法定福利費	3,519		
福利厚生費	25,000		
通勤交通費	11,100		
人件費計	288,849		
(2) その他経費			
支払助成・寄付金	1,000		
広告宣伝費	0		
渉外費	9,790		
会議費	130,000		
通信運搬費	98,526		
活動交通費	1,000		
消耗品費	44,508		
水道光熱費	40,611		
修繕費	0		
印刷製本費	22,043		
会場費	12,020		
保険料	0		
租税公課	31,670		
研修費	0		
支払報酬費	20,000		
諸会費	3,000		
支払手数料	152		
その他経費計	414,320		
管理費計		703,169	
経常費用計			37,703,399
当期正味財産増減額			56,924
前期繰越正味財産額			5,143,745
次期繰越正味財産額			5,200,669

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	239,774	
預金	三井住友銀行芦屋支店	4,179,930	
前払金	消費税及び 地方消費税の中間申告	498,200	
	諸謝金・交通費 (来年度事業分)	18,520	
	消耗什器備品 (プロジェクター)	169,840	
未収金	ひょうごボランティアプラザ (兵庫県社会福祉協議会)	500,000	
	年末調整還付金返金分	28,823	
流動資産合計			5,635,087
2. 固定資産			
器具備品	輪転印刷機	44,712	
固定資産合計			44,712
資産合計			5,679,799
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	源泉所得税・社会保険料	479,130	
流動負債合計			479,130
負債合計			479,130
正味財産合計			5,200,669

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	239,774		
預金	4,179,930		
前払い金	686,560		
未収金	528,823		
流動資産合計		5,635,087	
2. 固定資産			
器具備品	44,712		
固定資産合計		44,712	
資産合計			5,679,799
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	479,130		
流動負債合計		479,130	
負債合計			479,130
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,143,745	
当期正味財産増減額		56,924	
正味財産合計			5,200,669
負債及び正味財産合計			5,679,799

財務諸表の注記

財務諸表の注記

事業所名:特定非営利活動法人あしやNPOセンター

1.計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によります。また、消費税等の会計処理は、税込経理方式によります。

2.「役員報酬」に関しましては、支払われておりません。

集計期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日

勘定科目	年間予算	指定管理	指定・自主	独自・自主	共通	合計
正会員受取会費	200,000	0	0	0	160,000	160,000
賛助会員受取会費	50,000	0	0	0	45,000	45,000
受取寄付金	40,000	0	0	0	76,437	76,437
会費・寄付金計	290,000	0	0	0	281,437	281,437
指定管理料	31,200,000	31,200,000	0	0	0	31,200,000
会議室利用料	1,178,000	1,151,120	0	0	0	1,151,120
指定管理計	32,378,000	32,351,120	0	0	0	32,351,120
印刷機等利用料	3,530,000	1,996,924	512,723	0	127,707	2,637,354
講師派遣	50,000	0	0	84,333	0	84,333
事業収益	593,000	21,300	1,177,896	299,658	345,945	1,844,799
受取助成金・協賛金	1,535,000	0	500,000	0	0	500,000
自主事業計	5,708,000	2,018,224	2,190,619	383,991	473,652	5,066,486
受取利息	1,000	0	0	0	104	104
その他収入	0	25,700	23,400	7,176	4,900	61,176
雑収入	0	0	0	0	0	0
その他計	1,000	25,700	23,400	7,176	5,004	61,280
売上高合計	38,377,000	34,395,044	2,214,019	391,167	760,093	37,760,323
給料手当	19,751,000	17,969,911	1,129,685	267,620	249,230	19,616,446
法定福利費	2,640,000	2,079,392	0	0	3,519	2,082,911
福利厚生費	300,000	32,039	0	0	25,000	57,039
通勤交通費	857,000	536,256	0	0	11,100	547,356
人件費計	23,548,000	20,617,598	1,129,685	267,620	288,849	22,303,752
業務委託費	1,527,000	956,810	195,800	18,800	0	1,171,410
諸謝金(講師・委員)	1,044,000	665,334	153,142	52,035	0	870,511
支払助成金・寄付金等		0	0	10,000	1,000	11,000
ボランティア謝金	190,000	67,360	2,756	0	0	70,116
渉外費	20,000	0	0	0	9,790	9,790
広告宣伝費	110,000	10,000	0	0	0	10,000
会議費	160,000	0	0	0	130,000	130,000
通信運搬費	411,000	471,335	4,867	2,152	98,526	576,880
活動交通費	149,000	18,590	35,900	5,040	1,000	60,530
相談員謝金	55,000	41,021	0	0	0	41,021
消耗什器備品費	705,000	803,989	190,752	0	0	994,741
消耗品費	1,465,000	1,565,031	461,619	3,332	44,508	2,074,490
修繕費	350,000	104,367	0	0	0	104,367
水道光熱費	1,922,000	2,031,406	0	0	40,611	2,072,017
新聞図書費	25,000	22,154	0	0	0	22,154
印刷製本費	1,065,000	900,564	6,550	0	22,043	929,157
会場費	12,000	0	0	2,380	12,020	14,400
リース料	1,840,000	1,600,394	26,448	0	0	1,626,842
保険料	99,000	69,710	6,000	0	0	75,710
租税公課	1,090,000	972,195	500	0	31,670	1,004,365
支払報酬料	40,000	40,000	0	0	20,000	60,000
研修費	50,000	26,500	0	0	0	26,500
諸会費	6,000	0	0	0	3,000	3,000
会館修繕費	570,000	797,740	0	0	0	797,740
会館維持管理費	1,760,000	1,580,738	0	0	0	1,580,738
事務局費		992,446	0	0	0	992,446
支払手数料	31,000	39,762	0	0	152	39,914
減価償却費		0	0	29,808	0	29,808
事業費計	14,696,000	13,777,446	1,084,334	123,547	414,320	15,399,647
支出計	38,244,000	34,395,044	2,214,019	391,167	703,169	37,703,399
収支計		0	0	0	56,924	56,924

1.重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日 2017年12月12日一部改正によるNPO法人会計基準協議会)によります。また、消費税等の会計処理は、税込経理方式によります。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2.事業費の内訳

事業別収益の状況は別紙(「財務諸表の構成要素注記」)の通りです。

3.使途等が規約された受取助成金等の内訳

使途等が規約された受取助成金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内容	助成金額
ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社会福祉協議会)	500,000
合計	500,000

3.固定資産の増減内訳

固定資産の増減内訳は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首帳簿価格	取得	減少	期末帳簿価格	償却累計額
固定資産 什器備品(輪転機)	74,520	0	29,808	44,712	203,688
合計	74,520	0	29,808	44,712	203,688

令和2年4月21日

特定非営利活動法人 あしやNPOセンター
理事長 石本 章宏 殿

監査報告書

私ども兩名は特定非営利活動促進法第18条の規定に基づいて、去る令和2年4月21日12時30分から14時30分まで約2時間、あしや市民活動センター会議室Cにおいて、当法人（特定非営利活動法人あしやNPOセンター）の令和1年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の活動報告書及び計算書類（事業別会計及び収支計算書）について監査を行いました。

監査の結果、法人の業務は、法令及び定款そして活動計画にもとづき適正に執行され、会計処理は、一般に公正妥当と認められる会計原則に則って、適正に処理されているものと認められました。

依って私たちは、活動報告及び収支計算書が事業年度の終了時点（令和2年3月31日現在）における当法人の経営（業務執行及び財務）状況を適正に表示していることを認めます。

監事 朝倉 己作 

監事 津久井 進 